



文久壬戌京坂及關東

之形勢
從正月及
去月

養浩堂手記

早稲田大学図書館
文書 27
B 1





文名二年壬戌

一正月九日南都春日社前御神鏡相伝
 大官御々奉聞と通付下 疑速奉幣
 と持付國家奉命と奉と做し給ふ
 一月十日者東武坂上御門と馬名とを問知
 西條御馬守信正奉威名浪士と折
 肩先深く切しけらば供人踏歩其戦信正
 廣子身々道れ去浪士七人討死と御手
 主為り御死と果しけり七人亡士御傍布
 子斬女御越え者と浪の御死持しけり
 浪士前々外國より御御部正利照の家臣
 三島三平是海部之助細末忠齋吉御教助
 少野御相馬千之助内田高之助等
 孫と供人死に亡我二十人御あり物形
 大事と及じし者南都の春日社前御神鏡
 の之南館造等後知り物形と御則に

丁酉六月廿二日梅雨執筆 八葉



好意之御殿山より、八馬坪と村共、貸与せんと
議せらるるに、利照是を拒み、後、誦諫諍を極
む、世州同志に推成と舊心、利照と志州同
化、御部と悟、激す、不法、同志、責書せり、是
より切指す、家子等主人、利照に誓、憤
と、成る、乃ち、日、暮、初、夜、中、切、指、七、人
一、家、子、等、其、家、臣、以、細、す、か、し
一、二、月、去、親、子、内、親、王、京、都、城、之、行、り、少、始、姻
之、大、禮、何、其、中、其、基、所、と、細、す、や、り、か、し、も、造
一、切、三、月、十、旬、井、伊、保、部、頭、直、憲、幕、府、の
任、節、一、日、上、京、之、内、各、所、以、自、危、危、に、恐、る、也
い、と、書、す、や、り、

一、島、津、御、座、大、中、将、家、久、之、末、子、島、津、和、泉、从
光、之、次、子、義、房、中、人、一、四、月、二、日、揚、州、至、津
一、省、中、之、諸、國、浪、士、數、百、名、和、泉、之、旅、館
一、幕、府、之、罪、之、所、ら、書、す、と、過、り、極、矣
一、津、親、任、之、位、一、日、中、人、と、義、房、等、七、幕、府、と、
黨、之、元、中、山、敏、之、臣、田、中、河、内、外、諸、所、に、脱、奔、

平野次郎殿、指、間、平、大、谷、雄、作、青、山、被、母、給、
本、姓、花、原、勝、太、鶴、田、陶、司、酒、井、伊、治、御、荒、
卷、半、高、中、垣、鑑、太、郎、安、積、太、右、衛、門、右、衛、門、
近、傳、一、部、目、録、官、内、高、河、守、平、彦、成、友、進、兵、
野、勘、助、太、右、衛、門、長、河、川、之、武、部、関、山、外、山、林、將、
監、川、上、彦、中、指、馬、新、七、橋、之、此、中、田、中、謙、助、山、
田、中、孝、高、紫、山、彦、成、部、弟、子、丸、丸、山、田、留、吉、五、
郎、伊、年、田、尚、平、森、山、新、若、之、山、本、田、高、一、郎、
榮、太、右、衛、門、越、男、東、武、右、衛、門、野、田、勘、七、郎、村、江、
省、三、太、右、衛、門、宗、政、順、藏、堀、鑑、一、中、吉、太、右、衛、門、
島、合、之、徒、二、百、名、原、同、志、と、唱、へ、七、中、之、平、野、次、郎、國、
臣、巨、魁、と、い、ふ、事、は、自、然、州、之、上、書、於、了、之、文、に、
大、書、

此、其、其、幕、末、西、國、群、之、謂、利、之、人、能、遠、去、
蔑、一、恐、中、外、之、僞、約、と、い、ふ、一、天、下、將、士、之、向、城、
一、藩、人、と、い、ふ、一、遠、去、之、臣、才、少、少、少、初、
君、侯、之、英、武、之、所、事、之、時、之、係、人、と、い、ふ、事、

臣等鑑西の有志と密謀し義兵を志し、
所領の兵を糾し、身命を共に為さんと同しく、
指令に歸す所なきを、嗚呼、今一の志、
傍り申す事なき、いふが、晝夜を日、
謀るに機合し、しりし、はなばな、
西海に臨み、有志を偲らひ、
潜舟し、通行せしむ、一、秋、一、今、
拜謁し、臣等、一、願志を、一、願、一、神、
恢復し、一、其、一、其、一、其、一、其、
一、義兵を志す、一、其、一、其、一、其、
上、一、其、一、其、一、其、
風、一、其、一、其、一、其、
小、一、其、一、其、一、其、
也、

せんそ己、一、其、一、其、一、其、
平野、一、其、一、其、一、其、
慮、一、其、一、其、一、其、
走、一、其、一、其、一、其、
本、一、其、一、其、一、其、
田、一、其、一、其、一、其、
諸、一、其、一、其、一、其、
志、一、其、一、其、一、其、
自、一、其、一、其、一、其、
者、一、其、一、其、一、其、
院、一、其、一、其、一、其、
形、一、其、一、其、一、其、
時、一、其、一、其、一、其、
所、一、其、一、其、一、其、
小、一、其、一、其、一、其、

ありしに、市中諸石塔身、平車と記す
泉州、國自、近衛政事書と記す、陳述と記す、
百東記より、幕府の政体と密筆考、松岡
隆政、一、戊午以来、勅諭と書、奉、外夫
との通商、割入、正義、親王三公、七、始、外、
水、越、の、ま、水、年、和、島、の、外、法、候、考、
捕、固、一、彦、人、北、流、之、刑、之、處、一、隅、之、密、
世、痛、ら、の、由、と、何、の、事、一、已、之、法、必、紛、亂、浪、士
之、徒、勤、王、攘、夷、の、議、論、と、長、嶺、傳、説、
烈、の、傳、却、の、國、家、之、權、を、一、却、の、外、夫
之、術、中、之、路、ク、大、中、一、東、武、之、出、府、之、儀
建、日、跡、下、へ、し、今、を、播、州、姫、路、之、有
の、初、浪、士、之、道、一、地、集、り、た、故、也、之、勢、
一、之、事、を、自、記、す、の、意、心、法、然、依、見、之、賦、
一、見、ま、し、と、我、大、先、と、殿、傳、之、後、耳、

ありしに、市中諸石塔身、平車と記す
泉州、國自、近衛政事書と記す、陳述と記す、
百東記より、幕府の政体と密筆考、松岡
隆政、一、戊午以来、勅諭と書、奉、外夫
との通商、割入、正義、親王三公、七、始、外、
水、越、の、ま、水、年、和、島、の、外、法、候、考、
捕、固、一、彦、人、北、流、之、刑、之、處、一、隅、之、密、
世、痛、ら、の、由、と、何、の、事、一、已、之、法、必、紛、亂、浪、士
之、徒、勤、王、攘、夷、の、議、論、と、長、嶺、傳、説、
烈、の、傳、却、の、國、家、之、權、を、一、却、の、外、夫
之、術、中、之、路、ク、大、中、一、東、武、之、出、府、之、儀
建、日、跡、下、へ、し、今、を、播、州、姫、路、之、有
の、初、浪、士、之、道、一、地、集、り、た、故、也、之、勢、
一、之、事、を、自、記、す、の、意、心、法、然、依、見、之、賦、
一、見、ま、し、と、我、大、先、と、殿、傳、之、後、耳、

唐開元中... 浮舟西上議奏... 親款孫... 亂之財法... 戴... 帝... 州... 見... 州... 道... 島... 柳... 中...

中... 柳... 島... 道... 州... 見... 州... 道... 島... 柳... 中...

中... 柳... 島... 道... 州... 見... 州... 道... 島... 柳... 中...

中... 柳... 島... 道... 州... 見... 州... 道... 島... 柳... 中...

西國に於ては鼓動し京師馳奔し朝廷を措
按し四方を震るるは外患内擾に大
亂を醸し出さん將軍先能と後悔し
京師を辱る者非し公武一和を表し白以
物論を法定あらんことを希ふのみ既に我臣
長井雅樂と申すは京師を辱るし
此は探者改めし身と起し復たは
此者の中尋ありて歟と申すは公武一和を
久世信從大少監抑めし直に長井雅樂也
浮出つて事ありし疑ひもなきに云
何しと長井の病は疑ひもなきに云
と閑老と多々の金幣を申す種々の
謀ありしと長井あり銀回を申す和議
と申すは懐疑の上幕府に議論を命ぜら
り久世閑老特命を命ぜり同藩末原良藏

つゝ者も差添り三月中旬京師を奪ふに
事と成りし長井雅樂は秀才衆人の
越へ和漢の事情に通し其上博識者
多く京師に着し議奏中山大納言忠能
御之館に参殿し言上を申す方今宇内の
形勢安んずぬは時勢の公武一和所隔
者も望み御之館に参り御事多て幕
府一端外猛烈に威を因循し朝廷に伺
ふべしと聞かされ御事多て逆鱗
一形もなされ御之館に参り御事多て
破壊ありせらるる御事御事多て
一旦外國に協約の件は助を破壊あり
時を思ふ兵場を聞き莫大に困難を醸
えんと世に傳へを莫大に難事あり
此幕府の性質は最も此の御事多
遊をこれ當りしと御事多て難事多

新正出陣ありて彼が築穴を掘り塔を二つ
きを我國の士民に知らせし皇國の武威と内外
まもる興張りせしむる及て理を端へ備へた
論議奉りて建白せしむる 於此に島津
和泉先達より上京あり朝野奮起し折あり
なすも長井の上京成りてもあらずなり
生利中將の薩兵を以て 喜望の公武の和
之用旋に銀山撫夷の趣意ありし中將の命
を友し和親を唱へ佐幕を張り割る中將に
上書と諫言あり 議奏して之を以て同藩の有志
の皆へて或は好む或は罵り或は長井を討んと
議ありと大政を毛利邸の留守指役宛に在馬に
以ておのゝ高師にたし 社士を銀の議奏中山大柄
を以て参劄し主之中將の趣意を辨解し 殖業
を以て上書を賜り下り 故に此議を賜り
濟せしむる 在馬にたし 長井の旅宿を以て相
對し論議を授け友上書と一件丸く足下を罪

ながら畢竟関虎の指揮を以て 事の功又
速にたらし余は是濟を密に 社士に
三ヶ罪を以て 故に此地を滞りて却て害を
く似たり 下先の江戸を以てし 宗らに説き
服しつゝ長井に江戸を傳へたり 中將
薩兵の遺跡を是れ程を 田舎を命に給ふは
事同藩の有志を以て 罪を以て 密に
と討んと密に 長井の機を以て
東海道を行く 密に 道に 橋切り 工中山道を
大坂を以て 金庫を 危難に 一に 上書
諫言の 罪科を 以て 道に 田舎を 命に 給ふは
月中將より殖業の死を賜ひ 切腹可し 果て
たし 長井の先を 長井の兵を 密に 討つ
事原良花の長井の後を 密に 討つ 恥ん
切腹の後切腹の 死を 密に 討つ 恥ん
再説関あり 上方と浪士 堀島津和泉の

鷹浪士と教舞し、延天、疾聞、中、在、あし
 幕、あ、う、お、江、さ、ま、注、進、か、し、ら、バ、関、東、の、関、老
 杉、山、信、徳、後、松、倉、園、院、守、膳、輝、村、山、信、徳、因、為、紀、伊、守
 信、忠、姫、路、信、徳、酒、井、祖、樂、致、忠、績、山、形、信、徳、水、野
 和、忠、守、忠、精、山、信、徳、杉、平、豊、前、守、信、院、若、大、
 為、忠、と、若、松、と、も、在、初、合、と、下、幕、府、の、罪、と
 謹、責、中、と、し、る、若、成、年、の、擾、乱、に、公、武、謹、情、由、別
 の、人、と、解、を、あ、ら、じ、朝、廷、に、あ、お、お、下、ら、ま、先、ま、
 御、婚、姻、の、廢、候、と、あ、ら、じ、大、教、宥、許、と、行、
 と、あ、ら、じ、と、東、洋、通、る、定、ま、る、な、り、四、月、廿、七、日、先
 遣、の、道、行、の、事、の、り、尾、張、前、中、御、言、殿、一、橋、村
 部、御、杉、平、若、忠、城、前、の、山、内、密、置、杉、平、若、忠、等、 七、外
 先、遣、の、事、を、お、ら、せ、ら、れ、候、に、お、し、ら、せ、り、又、東、都、を、
 應、身、本、國、殿、近、衛、左、衛、門、公、府、自、在、殿、御、子、玉、院
宮、東、山、宮、何、事、を、 御、慎、解、仕、ら、せ、り、也、と、い、ひ、新、々、
 長、州、候、清、也、先、と、東、部、と、先、一、五、月、朔、日、京

師、若、着、せ、り、と、天、機、と、信、の、信、い、ら、ば、あ、る、哉
 内、也、同、浪、士、浪、士、峰、起、せ、り、少、島、津、和、泉、
 鈴、松、と、中、介、ら、猶、を、清、ま、和、泉、と、伊、力
 先、遣、し、鈴、松、と、第、一、と、伊、達、と、あ、ら、じ、長、州
 候、畏、川、に、拜、戴、せ、ら、じ、夫、ら、東、師、に、あ、ら、じ、專
 ら、改、修、の、用、旋、と、錫、札、也、又、島、津、泉、州、と、島
 今、勤、王、と、魁、一、白、姓、古、見、島、信、及、之、而、高、徳
 の、忠、切、の、相、神、事、の、勘、慮、斜、め、ら、り、に、は、今、
 和、泉、と、改、の、三、部、と、稱、す、べ、し、也、殿、名、在、ら、せ、り
 也、と、い、ひ、は、是、が、島、津、三、部、と、を、稱、す、
 一、次、白、岡、老、道、頼、頼、は、一、次、於、り、伊、後、と、の、名、
 若、ふ、ふ、り、て、中、京、路、を、い、さ、し、と、い、は、れ、り、也、夫、れ、
 を、若、上、事、あ、り、し、と、金、市、と、し、て、東、師、の、形、能、か、と、確
 實、し、杉、松、と、伊、力、と、病、氣、と、柳、野、と、河、野、と、
 川、野、と、東、部、御、内、と、御、お、い、ち、城、七、也、と、い、は、り、
 取、つ、て、改、修、と、し、一、次、の、修、成、盛、ん、也、と、い、は、れ、り、也、
 幕、末、と、追、攝、作、點、御、あ、ら、じ、中、と、取、修、改、路

守安宅入道攝水先建方所引代了白形
滞京せり此朝延向く事案此心
有らん之再い加判列位一人中務大輔之無任
あり茲より田安殿之儀見職之辭信不
却して照座之權幸也 敬慮男御せりべし
大原三位重德卿之物任一関東の不安も
り治定し即ち三位左大臣之任せり且五月廿二日
師と發し江上に向ふは省の大事に物任れし
島津之郎允光道中へ發し向ふは共奉せり此
形、同務大輔六人鉄砲計器を藏せり
威勢酒ありあせり
相東政多きは市面浪士を治せり
十風より別老姫御侍後酒井忠徳等之等師
取係り白土東也(一)五月十八日
一六月十日乃京ありし勅使大原島津之共
東武下河に候し是利家於此に書し
日増盛んしとありけり旭の御侍一関老姫

物任後之儀も恐怖、天機、何れも
潜居の清湯の酒井忠徳等之等師
東武下河に候し是利家於此に書し
之命せり七月初九日(一)五月十八日
之に此子郎州高橋東禅寺之強御所
前人と對害多かりし當り警衛村中
島津伊藤軍兵衛と云ふあり美人二人
軍兵衛之自前より此の儀非礼を行
怒憤一筋を奪ひ取り二名を討つ
島津自宅の場へ唐膳も幕府軍あり
之儀分存の形ありし自叙之席次
之儀分存の形ありし自叙之席次
幕府丹羽等之形衛と止めたり
六月廿二日
御又日月の節師の所居大原忠熙公
任、獅子王院の宮に青蓮院から任
らせられたり又先達と云ふありし
齋昭仰、果身皇女と云ふありし

甚深く、敬感して、お徳を、贈り、お返し、され、
 侍り、お三條、内大臣、高公、と、先年、奉、四事、と、
 忠勤、と、賜、され、お好、事、毒、の、後、言、より、由、
 中、多、死、し、お、心、を、お、お、功、勞、と、賞、し、お、ら、ん
 と、し、上、卿、廣、情、亞、相、忠、禮、初、使、言、辻、少、御、言、
 長、於、任、汝、西、公、倉、の、二、第、院、東、向、せ、と、宣、
 の、境、暮、の、向、い、し、初、文、と、言、ら、れ、右、左、臣、の、宣、
 と、給、り、お、世、御、世、を、任、給、し、お、文、外、第、御、長、
 者、と、給、り、お、世、の、任、給、ら、れ、お、世、に、相、見、
 と、言、り、お、倉、の、里、と、言、ら、れ、お、代、の、任、給、ら、れ、
 秋、と、言、り、お、人、と、言、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 と、言、り、お、野、倉、の、里、と、言、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 と、言、り、お、御、説、と、言、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 威、徳、の、世、人、と、言、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 と、言、り、お、世、中、七、月、十、日、と、言、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 と、言、り、お、世、の、任、給、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 流、星、の、散、れ、と、言、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 無、と、言、り、お、世、の、任、給、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、

かならん、と、言、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 下、旬、千、種、お、將、有、文、法、臣、若、倉、お、將、其、親、臣、
 富、の、跡、中、務、大、輔、お、直、臣、は、名、臣、あり、お、世、
 の、事、件、あり、お、世、の、任、給、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 の、任、給、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 重、と、言、り、お、世、の、任、給、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 一、つ、九、條、村、お、整、兵、お、久、我、内、大臣、建、
 公、右、大、將、と、免、せ、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 初、り、お、世、の、任、給、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 終、り、お、世、の、任、給、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 難、後、と、言、り、お、世、の、任、給、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 御、所、の、内、大臣、と、言、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 の、任、給、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 七、月、廿、二、お、浪、土、の、前、お、若、ら、ん、九、條、殿、の、家、
 臣、島、田、九、也、權、大、尉、の、首、と、切、り、竹、の、穂、光、と、
 突、き、こ、し、り、お、世、の、任、給、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 河、原、お、世、の、任、給、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、
 河、原、お、世、の、任、給、ら、れ、お、世、の、任、給、ら、れ、

賊長野を勝る白波野を巧く天地を安んずる
者之誅戮を加ふは之を身力部重の要
口からしつ湯をゆゆえん志高ぶる物也

ちやうし一編みりさるまがまうし首の立片
胸の扇を書いて老いせりけし高田を去る戊午
の秋関東の両首を討つるは信長節を勝る
相謀り官家草莽情懐の相志を流し我事
と有志憤激の堪えり遂に仇を報せり我
は先き関東を討つし勅使大原三位政二有
つる武州品川を看あつて同十日千代田に
城を入り後ふ家成將軍事事の未だ
言ふも 知使と請ひらるる大原三位
知言を以て我事と記せん不
後事の時めり我事と唱願事を幕
末之を利せり天下を治るる為民

准吉原に陣せんとも 是より後を傳へ
と惱まされふは御幕末に終るる日本
民協和を以て是を以て信長に師と奉り
願ふ皇妹と將軍と嫁するも許さるる
も終るる心は一和し天下を人民力を
也連りて我事と稱せり其の如くして
そは信長と和す関東の關を許す也
しは豈料ぬ我事と益し我事と親睦し
玉座を安んず一日の春もと信長と志
を志す我事と美林と善報を信長と為す不
日のみ國民の亂死中は信長と浪士大
衆と 聖徳を以て我事と信長と誅
し徳を擲つたるんし我事と信長との二
もこれと看りて公卿と稱するは信長の大
中と國旗將軍と上流と信長と公卿大夫
と其の誠し我事と信長と今と下と不自擲夫の成功

と遂に六祖神の宸居を慰め下は為民和意
の甚きしに天々を居し安き比し二人
出雲大関の故奥より沿海の大浦者なり
と大老と異に國路の故奥より安海と云し
功傷と雖も白旗を以て切らるるべし三を
一橋刑部卿を拜命し輔相を命じ一橋お
中將を大老職に任ぜし幕府内政を
輔佐し當りて祖志の成るるに三
事の中一ツを正すと仰せ遣せしは
將軍初命を拜命し一橋を由りて
七月朔を奉り初命を拜命し一橋刑部
に此間より一橋を奉り一橋刑部
に中將を命じ初命を拜命し一橋を奉り
と將軍初命を拜命し一橋を奉り
と將軍初命を拜命し一橋を奉り
と將軍初命を拜命し一橋を奉り

夫より久世に和守彦内藤に伊予守信忠を孫
初命を奉りて初命を奉りて八月廿日
大原殿を武蔵守角海より島津後大原卿
に先んじて二十日東武を奉り一州生麥村に
到り初命を奉りて初命を奉りて初命を奉り
島津後大原卿に先んじて初命を奉りて初命を奉り
無禮に致して即ち三人を切殺し幕府に
英人等禮の礼を命じて其後幕府に進
まれり初命を奉りて初命を奉りて初命を奉り
初命を奉りて初命を奉りて初命を奉り
三命を先んじて初命を奉りて初命を奉り
幕府に進まれり初命を奉りて初命を奉り
初命を奉りて初命を奉りて初命を奉り
進まれり初命を奉りて初命を奉り
賜り島津後大原卿に初命を奉りて初命を奉り

後醍醐天皇御在位 治承三年八月下旬 平定
宇治
のち 宇治
今 宇治
國家の 宇治
漢人 宇治
威望 宇治
河原 宇治
一 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治

一 宇治
昔より 宇治
の 宇治
類 宇治
と 宇治
隔 宇治
一 宇治
據 宇治
在 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治

の 宇治
江戸 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治
計 宇治
と 宇治
属 宇治
一 宇治
と 宇治
一 宇治
還 宇治
一 宇治
月 宇治
尚 宇治
一 宇治
根 宇治
幕 宇治
法 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治 宇治

日直公務を勉勵し、安き程右大将天十七一
統御し、心錦念山の星日夜未き運持つた
度衰ふの^い徳川の武盛も漸く衰へ、盛衰
時あるあり、白亦^い術之如きなり

は次都府の形勢、日夜変替の跡あり、井が
中、八月廿一の四條河原、三十歳余の男子
の首級を青竹の穂より取り、鳥首の如く、傍に
捨れり、本河原に口者、虚喝を以て、衆人を惑ひ
爲す者あり、不悔辯を振ひ、薩長土の三藩を
諷し、有志を誑間、謀をなす、當れ功を
行ふ、此物布ハ出生、越後之浪人をも先身り

正義に有志をわら、勤王を謀ら、此物布カ
たし、し、わら、物事を變ぜ、非命を經り
し、なん、回、其、松原河原、九條家の臣宇御
言、首級の首をも、徳の穂より取り、以て、鳥田、白、後
ま、王家の不義、陥れ、之、罪、奴ら、な、因ら

天誅を^い加へ、九月朔、三條河原上

日明^い一、^い武者、の、者、赤裸、し、て、足、縛り

締殺し、其、捨れ、此、者、先、年、島田、危、迫、に、後

一、種、奸謀、を、傳、い、て、其、弟、奸、ま、徒、心、を、

諸、忠、士、と、苦、痛、非、命、の、境、に、陥、れ、刺、入、其、金、を

今、今、の、罪、科、より、切、り、行、ふ、同、共、曾、知、洛、東、粟

田、刑、罪、庭、を、前、より、組、の、方、力、渡、追、金、を、高、同心、森

孫、六、同心、大河、原、定、藏、之、首、を、鳥、取、つ、て、見、る、者、解

集、す、是、を、以、て、以、中、以、集、有志、の、事、之、關係、が
一、竹、葉、府、の、事、人、の、天、誅、之、恐怖、が、是、を、
回、心、小、寺、仲、藏、と、い、つ、た、も、な、り、し、る、金、助、花、の
發、を、刺、て、行、方、知、れ、ず、或、は、重、代、の、職、を、奪、て、家
財、妻子、も、遺、去、る、徳、志、も、な、ら、ず、見、ま、す、こ、ろ、が
權、威、を、奪、り、人、を、其、の、ど、く、せ、し、著、矣、之、願、士、と
ん、る、虎、狼、の、如、く、畏、れ、と、な、り、徳、退、き、信、を、浪
士、の、徒、輩、物、と、し、既、に、暴、行、を、行、つ、た、り、後、今、

底之用意を以て之を記し出傷に付物子高都
使者あり中川久昭を責りて不現今勤
玉に抄

